

2024年度 摂南大学大学院経済経営学研究科 修士課程 経済学専攻 一般入学試験(第3回) 入試問題(専門科目)

志望する専攻分野とそれ以外の専攻分野から1問を選びそれぞれに解答しなさい。

なお、答案用紙は、志望する専攻分野とそれ以外の専攻分野それぞれ別用紙になっているので注意すること。

【国際経済】

次の設問について解答しなさい。

世界各国の貿易総額や対外直接投資総額は、1990年代から2007年のリーマンショックを契機として起こった世界金融危機までは急速に増加した。その後、貿易総額は緩やかな増加傾向を示し、対外直接投資総額は停滞している。このように国際貿易や国際投資が1990年代から急速に拡大した要因と、それらの拡大が2007年以降に減速・停滞した要因をそれぞれ複数挙げて論じなさい。

【地域経済】

次の設問について解答しなさい。

世界の人口は増え続けているが、その一方で、日本、韓国、台湾などの地方都市の多くでは人口の減少が見られる。以下の(1)、(2)について具体的かつ体系的に論じなさい。

- (1) 人口減少の著しい地域がなぜ豊かな国々でも生ずるのか。
- (2) このまま人口減少が進むとその地域住民のQOL(生活の質)にどのような影響がでるか。

【観光経済】

次の設問について解答しなさい。

日本では2012年ごろから観光のインバウンドブームが起こり、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって2020年から数年中断したが、2023年からは再び活況を呈している。このことについて経済活動との関係を中心に以下の(1)～(3)について答えなさい。

- (1) 2012年ごろから始まった日本における観光のインバウンドブームについて概要を論じなさい。わかる範囲で数字をあげることを。
- (2) 訪日外国人旅行者による消費(訪日外国人旅行消費額)は国民経済においては輸出として計上される。なぜ、そのように計算されるのか論じなさい。
- (3) 日本政府は約20年前から観光振興を経済戦略の重要な方向性として取り組むようになった。なぜ、そのような取り組みが始まったのか論じなさい。

【経済学基礎理論】

次の設問について解答しなさい。

ある同質財市場に存在する独占企業の限界費用(MC)は一定(c)であり、線形(直線)の需要曲線($P=A-bQ$)に直面しているとする。ただし、Pは価格、Qは生産量、Aとbは正の定数である。このとき、以下の(1)～(3)について答えなさい。

- (1) この独占企業が利潤を最大にする生産量を計算で求めなさい。
- (2) このときの死荷重(経済厚生損失)を図示しなさい。
- (3) この市場に新たに同じ限界費用($MC=c$)をもつ企業が参入し、複占になったとする。2つの企業がクールノー競争を行ったときの市場全体の生産量を計算で求めなさい。

**2024年度 摂南大学大学院 経済経営学研究科 修士課程
一般入学試験(第3回) 入試問題(専門科目)**

志望する専攻分野とそれ以外の専攻分野から1問を選びそれぞれに解答しなさい。

なお、答案用紙は、志望する専攻分野とそれ以外の専攻分野それぞれ別用紙になっているので注意すること。

【企業経営】

次の設問から1問を選択して解答しなさい。

- (1) 事業部制組織のメリットとデメリットについて、論述しなさい。
- (2) マネジメントにおいて、形式知と暗黙知が必要な理由について、それぞれ論述しなさい。

【会計】

次の設問から1問を選択して解答しなさい。

- (1) 会計の手続きを「日常の手続き」と「決算手続き」に分けて説明し、各プロセスで作成する会計帳簿の意義(目的)について述べなさい。
- (2) 決算時に作成する2つの財務諸表(貸借対照表と損益計算書)の定義・目的・構成要素などについて説明し、企業の利害関係者は貸借対照表・損益計算書の財務情報に基づいて何ができるかについて例を挙げながら述べなさい。

【経営情報】

次の設問から1問を選択して解答しなさい。

- (1) DX推進が企業にもたらす利点を述べ、2018年に経済産業省がDXレポートで提唱した「2025年の崖」について論じなさい。
- (2) 企業が戦略策定に用いるSWOT分析とは何かを述べ、IT業界の企業を取り上げてSWOT分析の事例について論じなさい。